

# パブリックコメント用資料

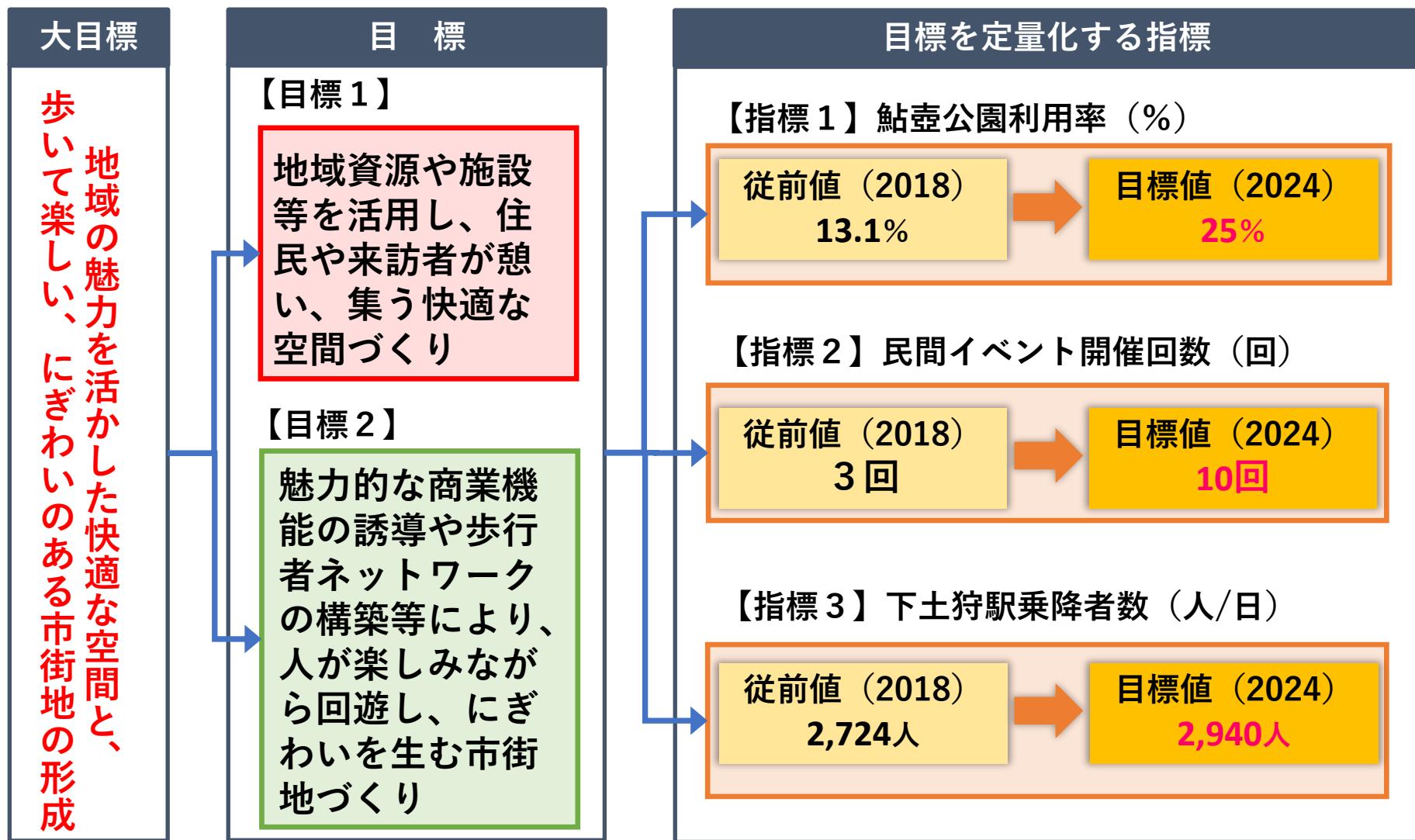
## 都市再生整備計画 「鮎壺公園・下土狩駅周辺にぎわい交流地区」 事後評価

実施期間：令和7年12月8日～令和8年1月7日



# 1. 計画の目標と指標

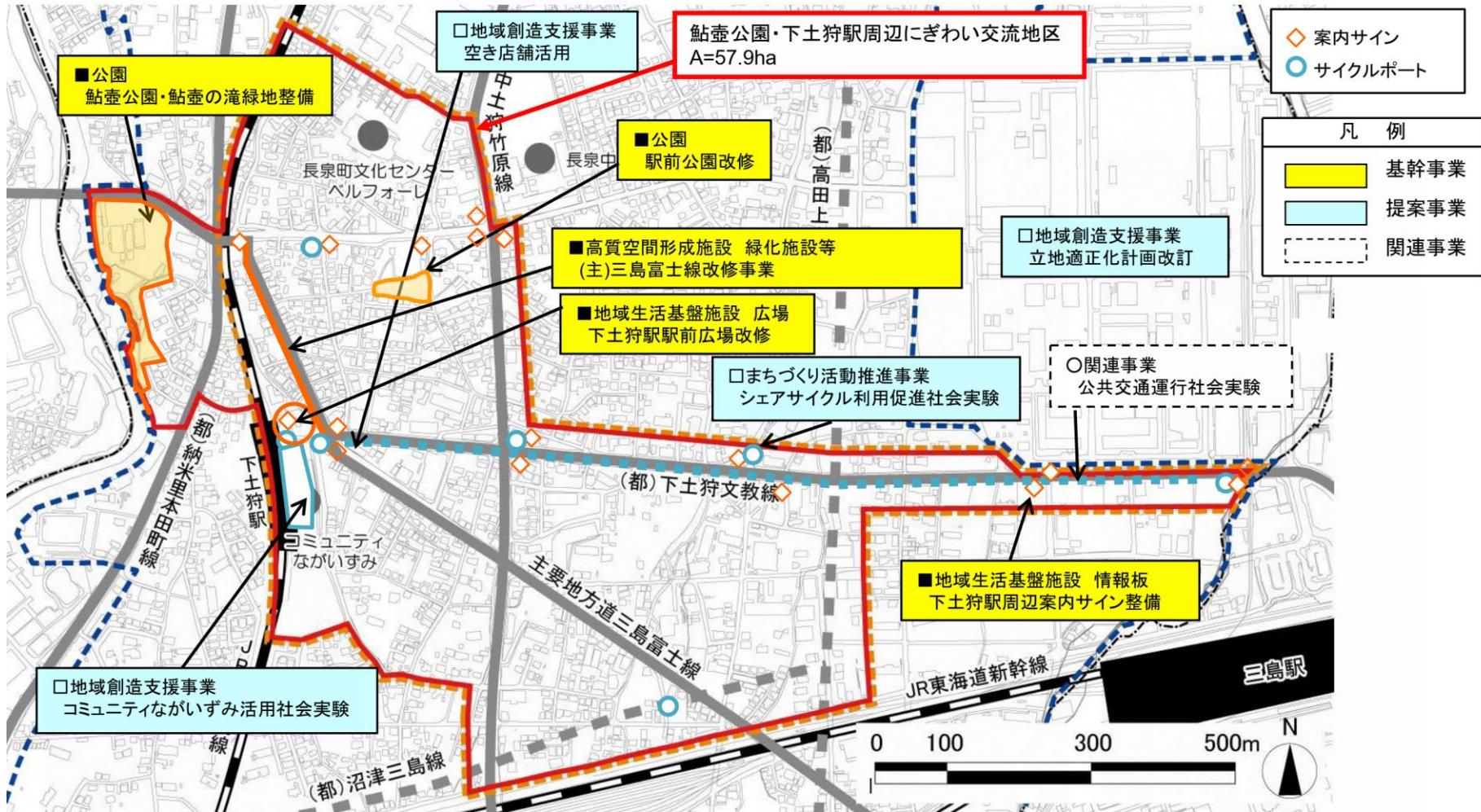
## ■都市再生整備計画の目標



# 1. 計画の目標と指標

## ■都市再生整備計画の実施状況

【計画期間】  
令和2年度～令和6年度



## 2. 事後評価 ①目標・指標

### ■都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

目標指標		従前値 (2018)	目標値 (2024)	評価値	目標 達成度
指標 1	鮎壺公園利用率 (%)	13.1	25.0	36.7 (2025)	達成
指標 2	民間イベント開催回数 (回)	3	10	7 (2024)	改善
指標 3	下土狩駅乗降者数 (人/日)	2,724	2,940	2,638 (2024)	未達成

### ■その他の数値指標(当初設定した以外の指標)による効果発現の計測

目標指標		従前値	評価値
参考 1	鮎壺公園整備の満足度 (%)	—	79.3 (2025)
参考 2	鮎壺公園の来訪者数 (人/月)	—	6,877 (2025.3~9)
参考 3	下土狩駅前広場改修の満足度 (%)	—	74.8 (2025)

## 2. 事後評価 ②フォローアップの実施

### ■フォローアップ計画(追跡調査)

- 達成状況の検証に、「見込み」で評価を実施した指標、交付終了後1年以内に達成見込みありとした指標は、令和8年度を目処にフォローアップとして計測を行う。

指標	
指標 1	—
指標 2	民間イベント開催回数
指標 3	—

## 2. 事後評価 ③今後のまちづくり方策の作成

### ■まちの課題の変化

まちの課題	達成されたこと	残された未解決の課題
<ul style="list-style-type: none"><li>鮎壺公園・鮎壺の滝緑地において、地域住民の利便性の向上や来訪者の増加に対応した整備が求められる。</li></ul>	鮎壺公園に整備により、地域住民の日常的な利用機会が増え、来訪者数の増加につながっている。	-
<ul style="list-style-type: none"><li>本町の中心拠点として、ソフト・ハード両面から下土狩駅周辺におけるにぎわいの創出が求められる。</li></ul>	下土狩駅前広場の整備により、駅周辺でのイベントが活発に行われており、にぎわいの創出につながっている。	-
<ul style="list-style-type: none"><li>来訪者が回遊したくなるまちづくりの推進が求められる。</li></ul>	駅周辺の主要施設等を結ぶルートへの案内サインの設置や県道へのカラー舗装による安全な歩行者空間の形成、シェアサイクルステーションの設置により、回遊性の向上が図られている。	-

## 2. 事後評価 ③今後のまちづくり方策の作成

### ■まちの課題の変化

まちの課題	達成されたこと	残された未解決の課題
<ul style="list-style-type: none"><li>・ コミュニティながいづみの公共施設の有効活用が求められる。</li></ul>	コミュニティながいづみ駅前広場での民間共催によるイベントの開催などが行われており、公共施設の有効活用につながっている。	—
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 三島駅北口との交通アクセスの改善、自動車利用者の利便性向上等が求められる。</li></ul>	—	下土狩駅と三島駅北口を結ぶ交通アクセスの改善

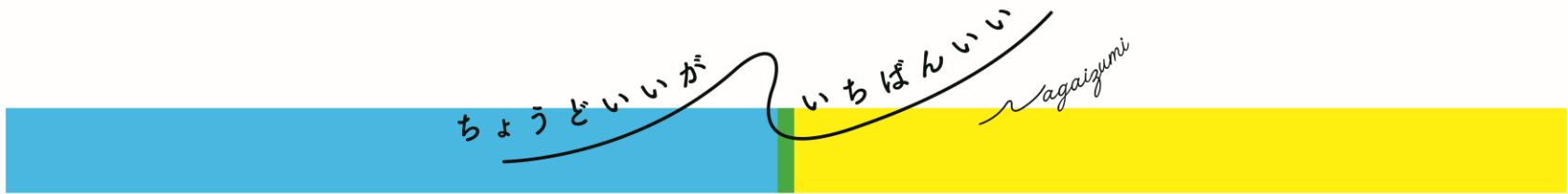
### ■新たな課題

- ・ 地区の回遊性のため、公共交通機関やシェアサイクルの利便性など適切な対策が求められる。
- ・ 子育て世帯のみならず、あらゆる年齢層に対応したまちづくりが必要である。
- ・ 公園、駅、コミュニティながいづみの連携した、にぎわい創出の取り組みを検討し、情報発信していくことが必要である

## 2. 事後評価 ③今後のまちづくり方策の作成

### «効果を持続させるために行う方策»

効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
・ 鮎壺公園の利活用促進、維持管理	地域住民の鮎壺公園の利用を促進するため、定期的なイベントの開催や公園施設の適正な維持管理を実施する。	・ 鮎壺公園、鮎壺テラスでのイベント開催 ・ 鮎壺公園施設の長寿化
・ 下土狩駅駅前広場、コミュニティセンタながいいずみ駅前広場でのイベント開催によるにぎわいの創出	現在開催されているイベントを定期的に開催する仕組みを構築し、年間を通してにぎわいを創出する。	・ 下土狩駅周辺での年間を通したイベントの開催
・ 駅周辺の主要拠点へのシェアサイクルステーションの設置	下土狩駅を起点として、各主要の公共施設や観光拠点を利用できるシェアサイクルステーションを充実する。	・ 鮎壺公園へのシェアサイクルステーションの設置



近ごろ、世の中、○○すぎるが多すぎる。

目立てばいいというわけではありません。そこへきて、この長泉町です。

静岡県なのに、東京まで小一時間。地方なのに財政が豊か。

緑が多いのになんだか都会。

産業は充実してるし、少子化の時代でも、子どもが多い。

有名じゃないのに、すごく暮らしやすい。

長泉町は、一長一短のないきわめてバランスに優れた都市なのです。

ながく住むなら、やっぱりこういう町がいいですよね。

え？ それでも何か目立つ特徴がほしかった？

いえ、欲をかいてはいけません。ちょうどいいが、いちばんいいんです。

あなたに、みんなに、もっと“ちょうどいい”町にしていきませんか。